

整体と鍼

リトリート新聞

2020年12月号

気づけば今年も終わりにになります

気が付けば早いもので、令和2年もあと少しで終わりを迎えます。来年は丑年になりますね。干支は諸説ありますが、植物が循環する様子を表しているそうです。子に蒔いた種が芽を出して成長する時期と言われていいますので先を急がず、目前のことを着実に進めることで将来の成功につながっていく、と言われていいます。それにあやかって来年は学びの年にするのもいいですね。



日本の干支で良く知られているのが昔話にある動物たちが1年の始まりを神様に挨拶する物語です。

昔々、神様が「1月1日の朝、1番から12番目までにきたものを1年交代で動物の大将にする」と御触れを出しました。

それを受け取った全国の動物たちは、自分が一番になろうと翌朝まだ暗いうちから一斉にスタートしました。でも猫だけは「1月2日の朝」とネズミから聞いていたので、出発しませんでした。犬と猿は最初は仲良く並んで走っていたのですが、そのうち必死になってしまい、とうとう丸木橋の上で大げんかを始めました。

いよいよ新年の太陽が昇った時、前日の夕方から出発していた牛が一番に現れました。しかし牛の背に乗っていたネズミが、「神さま、新年おめでとございまチュウ」と、牛の背中からぴょんと飛び下り、神さまの前に走っていきました。一番はネズミになってしまったので、牛は「モウモウ！」と悔しがりました。

続いて虎が到着し、そして兎、龍がやってきました。こうして次々に動物たちが到着し、蛇、馬、羊、猿、鳥、犬、猪、カエル、の順番となりました。13番目になってしまったカエルは、がっかりして「もうカエル」と言って帰っていきました。

さて、神さまと十二支たちの酒盛りが始まりましたが、犬と猿はまだケンカをしていました。そこへすごい剣幕で猫が現れ、ネズミを追いかけまわしました。だから、今でも猫はネズミを追いかけていて、犬と猿は仲が悪いという事です。

引用：まんが日本昔ばなし

干支の意味には他にも縁起話や特徴があります。

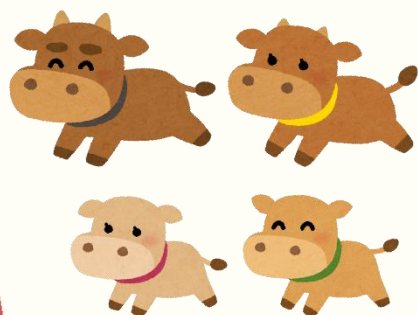
牛は肉は大切な食料に、力は労働にと社会を支えている様を表しており、特徴として粘り強さと誠実さがあると見なされています。

更に、干支はアジア地域とロシアで見られ、ほとんど共通しているのですが、チベット、ベトナム、タイでは兎の代わりに猫が入っています。猫好きにはうらやましい話ですね！

面白いことに、干支の話は「猫とネズミが敵対することになった干支の話」か「ネズミが牛にくっついて1番になる干支の話」なんだそうです。

しばしば離れた地域でも共通する話がありますが、ここまで共通していると実際にあった何かを大元に行っているのかな？とロマンが広がりますね。

今年1年ありがとうございました。また来年もよろしくお願いいたします。



無料体験受付中



誤嚥防止指導員

整体と鍼 リトリート

☎080-4335-5897

〒116-0012 東京都荒川区東尾久6-5-12

プランドール201

HP: <https://mikiokubo.com/houmonn/>

受付時間 9時～20時

※施術中にて出れない場合は折り返し連絡いたします



一般社団法人
日本在宅マッサージリハビリテーション協会
JVMR Japan Association of Visiting Massage & Rehabilitation